

■武市瑞山(半平太)
たけちずいざん
シボト追放・1829＝

志士。剣道の達人。土佐勤王党を結成して尊攘派を糾合、吉田東洋を暗殺させたが、政変で切腹。
土佐国長岡郡仁井田郷吹井村で、郷土武市半右衛門正恒の長男に生まれる。

大塩平八郎乱1837＝ 8歳：高知城下に寄寓し、習字を学ぶ。
適塾入塾・ 1838＝ 9歳：
蚕社の獄・ 1839＝10歳：素読を受ける。

天保改革弾圧1842＝13歳： 初めて剣術を学ぶ。

天保改革終・ 1844＝15歳：元服。
阿部正弘首座1845＝16歳：父の老衰を理由に代勤を願い出て、認められる。

・ ・ ・ ・ ・ 1847＝18歳：

北斎没・ ・ ・ 1849＝20歳：父、母が相次いで死去。家督を相続し、祖母扶養のため、妻を娶る。
国定忠治疎・ 1850＝21歳：家を高知に移し、 麻田勘七に入門して、剣術を修業、

ペリー来航・ 1853＝24歳：
開国開港・ ・ 1854＝25歳： *免許皆伝となり、以後、剣で知られる。
安政大地震・ 1855＝26歳：土佐大地震後、 家とあわせて道場を新築し、また、藩命で剣道の出張教授を行う。
松下村塾・ ・ 1856＝27歳：剣道修業を理由に、江戸に差し向けられるが、
蕃書調所・ ・ 1857＝28歳：祖母が病気になり、帰藩。
五ヶ国条約・ 1858＝29歳：剣道教授方の懇篤を賞され、終身二人扶持となる。

桜田門外変・ 1860＝31歳：祖母が死去。剣道修業の目的で、初めて防長、九州諸藩を視察。
遣欧使節・ ・ 1861＝32歳： *江戸に行き、遊学中交流した久坂玄瑞らと率兵上京を計画し、土佐勤王党を結成した。帰国後、
生麦事件・ ・ 1862＝33歳： 全藩にまたがる草莽尊攘派を糾合し、当時藩政を主導していた開明的な吉田東洋を暗殺させ、土佐藩政に
影響力をもつようになった。
8月18日政変 1863＝34歳： 京都でも尊攘運動を指導したが、政変後捕らえられ、
薩摩藩士密航1865＝36歳： *勤王党弾圧の下で切腹を命ぜられた。